



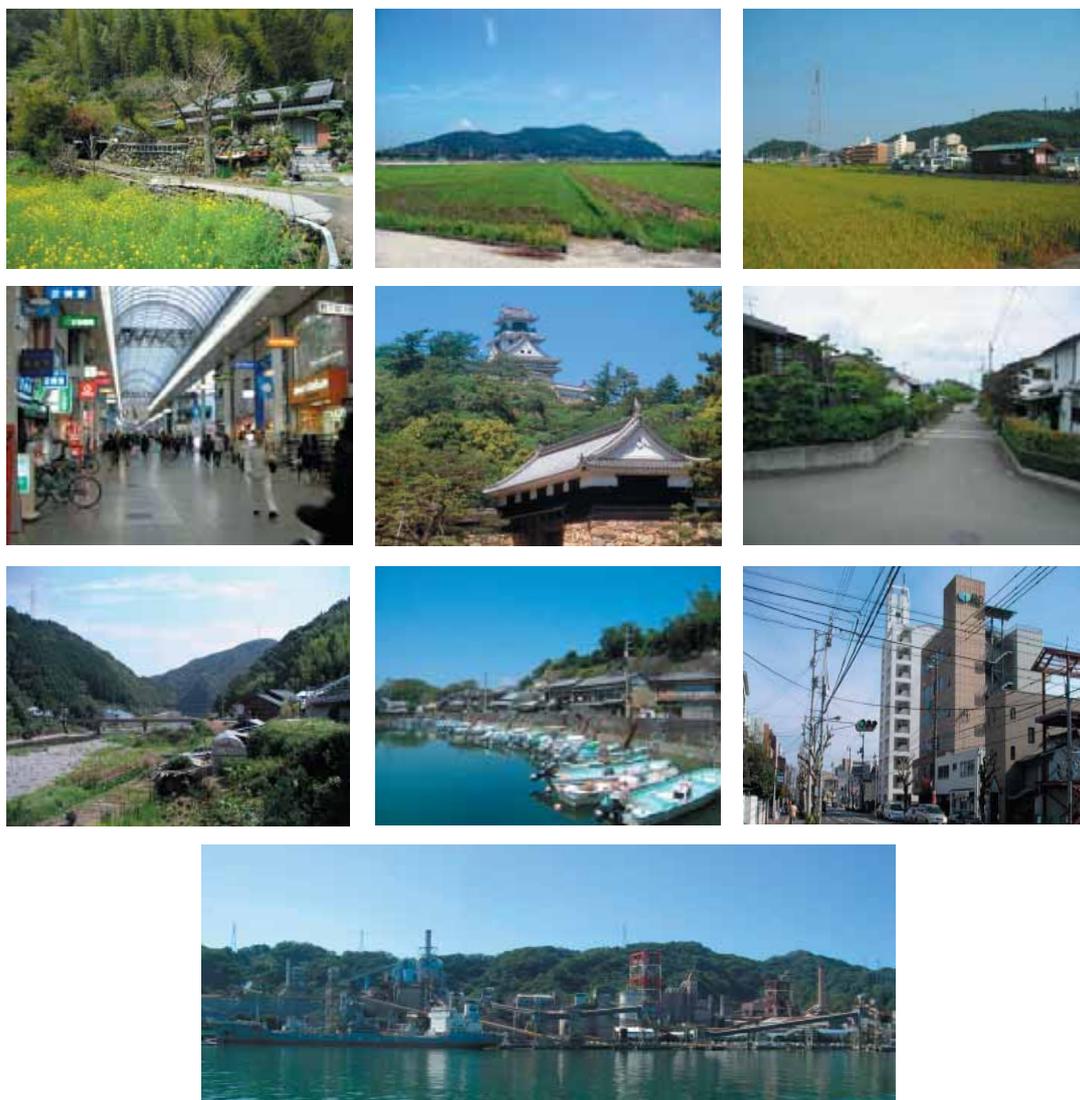
## 第2章 高知市の現状

### 2.1 高知市の景観構造

都市の景観は、それぞれに個性を持った地域の集合体として形成されています。景観整備にあたっては、市全体をひとつの都市として画一的に見るのではなく、地形、気候、歴史、コミュニティ、土地利用などによって分類される、それぞれの景観域の個性を把握し、その個性を尊重しながら全体としてのまとまりを考えなければいけません。

高知市は、大きく分けると、商業業務施設が集中している中心地域、山地のみどりに囲まれたり、田畑が広がっている自然が豊かな地域、戸建て住宅が集まっているところで自然豊かな地域、さまざまな形態の住宅や店舗などが混在している地域、浦戸湾など港湾に面し工場などが見られる地域といった景観域があります。また、異なる景観域の間を融和させるとともに、輪郭形成のための骨格としての役割を果たし、さらに個性的な景観を演出する場所として主要幹線道路、河川などの景観軸があります。このように、高知市はいくつかの景観域とそれをつなぎ囲む景観軸とで構成されています。

また、高知城や五台山竹林寺などの文化財が点在するとともに、四国八十八箇所遍路道といった文化的景観を有しています。



## 2.2 地区別の現状

景観計画策定の基礎となる高知市の現状についてまとめました。都市計画マスタープランの地域別構想の11地区とあらたに合併した旧鏡村、旧土佐山村、旧春野町の14地区に分割して調査を行いました。



図 地域区分図

### (1) 調査方法

高知市全域の景観資源など現状を表すために「景観資源マップ」を作成しました。このマップの作成は、下図のように独自の現地調査やアンケートをはじめとして、高知市コミュニティ計画 や都市計画マスタープラン、その他の各種文献から、景観的に重要なものを抽出し、次の4つの項目に分類しました。



図 資源マップ構成イメージ

#### 参考文献

- ・『高知市都市計画マスタープラン 新・土佐の城下町づくり』  
2003 高知市
- ・『高知市コミュニティ計画』(地区の良いところを抜粋)  
1997 高知市
- ・『わがまち百景 - 21世紀に伝えたい高知市の風景 -』  
1990(財)高知市文化振興事業団
- ・『高知市文化財調査報告書第16集 高知市の近代和風建築』  
1996 高知市教育委員会
- ・『高知県文化財ハンドブック』  
1996 高知県教育委員会編
- ・『市民の森整備構想案』  
2004 高知市・鏡村・土佐山村市民の森整備構想に係る提言委員会報告

#### 眺め

- ・山頂や展望台などからの眺め
- ・道路などからのまちなみの眺め
- ・道路や公園緑地などからの山なみの眺め
- ・橋や堤防などからの河川や、川沿いのまちなみ、山なみの眺め
- ・海岸などからの海の眺め

#### 自然環境

- ・森林
- ・公園緑地
- ・河川
- ・街路樹、独立樹
- ・田園
- ・海岸

#### 歴史・風土・文化

- ・歴史的建造物
- ・史跡、文化財

#### 賑わい

- ・商店街
- ・祭り・イベント
- ・街路市

## 2.2 地区別の現状

### 2.2.1 中央地区

#### <土地利用>

中央地区は、高知城を中心として商業・業務地とその周辺の住宅地で構成されています。また、地区の南部を流れている鏡川は市民に親しまれています。

高知広域都市圏の中心地として、商業・業務施設や行政機関が集まっています。また、帯屋町からはりまや橋周辺は、専門商店・飲食店が集中し、活気ある商業地区を形成しています。

一方、周辺部には整然とした街区が形成され、低層住宅が多くありますが、最近では中高層マンションが建設され混在しています。

また、地区の北西部では、幹線道路の整備改善による良質な居住環境を形成しています。

現在、工業系土地利用のできる計画的な基盤整備を目的とした弥右衛門地区と県都の顔と中心商業地の連携強化を目的とした高知駅周辺地区の2地区を整備しています。



凡例

	眺め
	特徴のあるまちなみ
	山なみ、独立峰
	シンボリックな建造物・ランドマーク
	森林、公園緑地
	街路樹
	独立樹
	河川・海岸
	文化財(番号は表に対応)
	歴史的建造物(文化財以外)
	歴史的まちなみ
	商店街、街路市
	祭り、イベント

表 文化財一覧

番号	指定区分	名称	所在地等	指定年月日
①	国 有形文化財	高知城	丸ノ内一丁目	昭和 9年 1月 30日
①	国 記念物	高知城跡	丸ノ内一丁目	昭和 34年 6月 18日
①	高知市 天然記念物	辻山北心もとの含化石石灰岩塊	丸ノ内一丁目	昭和 42年 5月 13日
②	国 有形文化財	旧山内家下屋敷長屋	鷹匠町一丁目	昭和 54年 2月 3日
③	高知県 有形文化財	開成門	城北町	昭和 32年 10月 22日
④	高知市 有形文化財	旧手嶋家住宅	大川筋二丁目	平成 8年 3月 1日
⑤	高知市 史跡	桜井跡	桜井町	昭和 42年 2月 3日

図 景観資源マップ

## 2.2.1 中央地区

### 眺め

この地区は、高知城がシンボルになっています。その周辺には、行政・商業・業務といった中高層の建築物が立地し、さらに周辺になると、低層の住宅が建ち並んでいます。

地区周辺部の住宅地が集中する地域では、中高層のマンションが建設され、まちなみが著しく変化しています。

鏡川、江の口川、久万川沿いは高層の建築物も少なく、広々とした景観を形成しています。また、国道32号、33号は路面電車の軌道を一部緑化したり、歩道に花壇を設けるなど、都心の安らぎを演出しています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、国指定の重要文化財として「高知城」や「山内家下屋敷長屋」が、また史跡として「高知城跡」がそれぞれ指定されています。そのほかにも、高知県指定の有形文化財として「開成門」、高知市指定の有形文化財や史跡が多く、指定されていない建築物等も含めて、歴史が感じられる場所があります。そして、よさこい祭りや街路市などの伝統的文化は、現在も引き継がれています。

また、地区内には、小中学校が13校あります。これらの校歌には、「天守閣」や「古城」といった高知城を歌ったものが多く、また、「久万の流れ」や「鏡の流れ」が歌われ、川の美しい流れなどが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 自然環境

この地区には、自然のみどりは少なく、高知城周辺や都市計画公園などに限られています。

鏡川・江の口川・久万川の各河川は、護岸がコンクリートで、自然にとぼしい部分がありますが、一部ではビオトープの実験施設や水<sup>みず</sup><sub>はね</sub>を設置したり自然環境への取り組みがなされています。

中央地区と周囲の山々を結ぶ道路は、一部に街路樹があり良好な景観を創りだしています。

オフィス街や商店街の一部では敷地内の緑化が行われており、まちに潤いを与えています。

一方、住宅地では敷地内の緑化が積極的に行われている場合が見受けられます。



### 賑わい

この地区には、中心部に大きな商店街があります。その他にも地域に密着した商店街が形成されていて、生活には欠かせない存在となっています。

また、追手筋には日曜市が建ち並び、観光客も訪れにぎわいがあります。

よさこい祭りは、全国からの参加者で賑わっています。その他、中央公園や城西公園、鏡川河畔で行われるイベントは、たくさんの人出でにぎわいを見せています。



# 第2章 高知市の現状

## 2.2 地区別の現状

### 2.2.2 潮江地区

#### <土地利用>

潮江地区は、高知港の整備とともに、湾岸部には工業地帯が形成され、内陸部は宅地化しています。

地区内の道路は、路面電車の通る県道34号(棧橋通り)と国道56号(土佐道路)が主要なものとなっています。

地区の北部は、土地区画整理事業により宅地整備されており、近年は中高層マンションの建設も増加しています。また、南部は造船所や重化学工場などの大規模な敷地を有する事業所の移転や撤退に伴い中高層マンションの立地が進み、周辺に残った工場は、騒音や臭いなどの対策が必要となり、操業が困難となって移転を余儀なくされるといった悪循環が起きている。

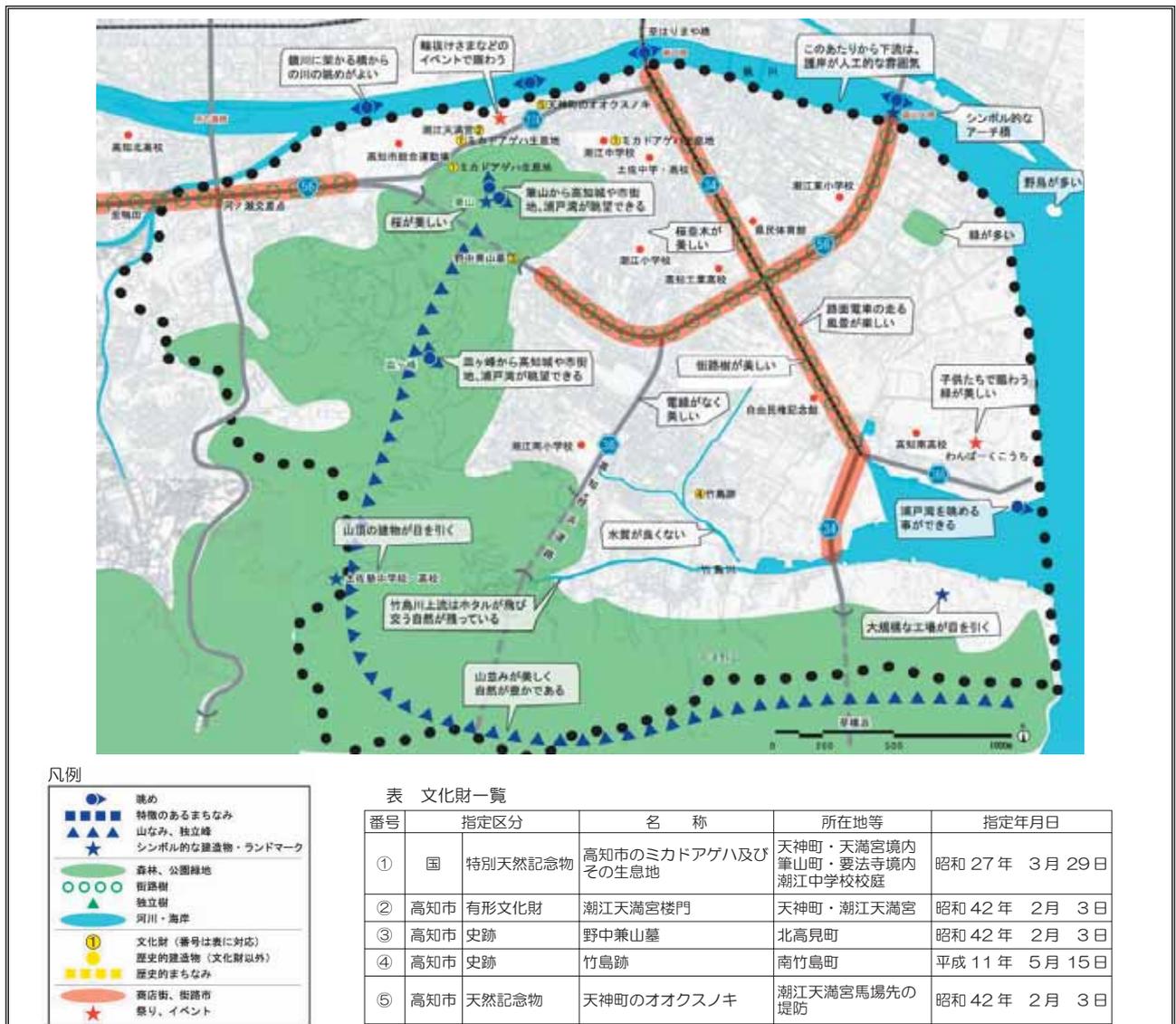


図 景観資源マップ

## 2 .2 .2 潮江地区

### 眺め

この地区の南部から中央部にかけて、「宇津野山」「皿ヶ峰」「筆山」などの山なみが横たわっており、まちなかからも、みどり豊かな南山の山なみがよく見えます。鏡川沿いは、堤防の上が散策路になっている所もあり、広々とした河川景観を得ることができますが、下流域から浦戸湾にかけては、堤防がコンクリートの壁状になり、殺風景な景観となっています。

棧橋通りはクスノキの並木が大きく成長し、みどり豊かな街路景観を形成しています。

筆山や皿ヶ峰の山頂は眺望点 であり、市街地から浦戸湾、さらに北山や五台山など広い範囲を見渡すことができます。



### 自然環境

この地区の山なみは、地区を取り囲むように形成されており、豊かな自然に恵まれています。

鏡川の河口付近や浦戸湾、高知港は船着きの岸壁として整備されており、みどりは少ない。そんな中、動物園と遊園地、公園が併設された、わんぱーくこうちが潤いを与えています。

棧橋通りはクスノキの並木が大きく成長しており、良好な通りの景観をつくりだしています。

高知港の周りにある工業地帯には、以前からある工場やプラント があり、みどりがほとんどない整然とした景観となっています。一方、住宅地では敷地内緑化が積極的に行われている場合も見受けられます。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知市指定の史跡として「野中兼山墓」や「竹島跡」が、また有形文化財として「潮江天満宮桜門」がそれぞれ指定され、歴史の感じられる場所があります。また、国指定の特別天然記念物として「ミカドアゲハ及びその生息地」として指定されています。

また、地区内には、小中学校が4校あります。それらの校歌には、「筆山」「高見の山」の山なみや、「浦戸の海」というように海の眺めが歌われていて、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

この地区では、棧橋通り沿いが商店街となっているほか、国道56号が開通した区間では新しい商業施設の立地が見られます。また、住宅地では、主要な道路沿いに商店が散在しています。

潮江天満宮は、高知市内でも参詣者の多い神社のひとつであり、正月や輪抜け様などの行事の際には多くの人で賑わいます。また、わんぱーくこうちは、高知市内では数少ない遊園地であり、休日は子供たちで賑わっています。



# 第2章 高知市の現状

## 2.2 地区別の現状

### 2.2.3 長浜地区

#### <土地利用>

長浜地区は、北部が宇津野山や鷲尾山などが連なる山地となっています。南部は田園と宅地が混在しています。

地区内の道路は、市内から漁村集落へと抜ける県道34号と、宅地開発されたまちへ抜ける県道36号の2本があり、さらに土佐湾沿岸を東西に三里から土佐市へと抜ける県道14号(花街道)が主要なものとなっています。

近年、横浜や瀬戸、蒔絵台といった宅地開発が進み、高知市のベッドタウン となっています。

新川川下流から浦戸湾にかけての沿岸に住宅が密集しており、御置瀬や浦戸には昔ながらの漁村風景が残っています。

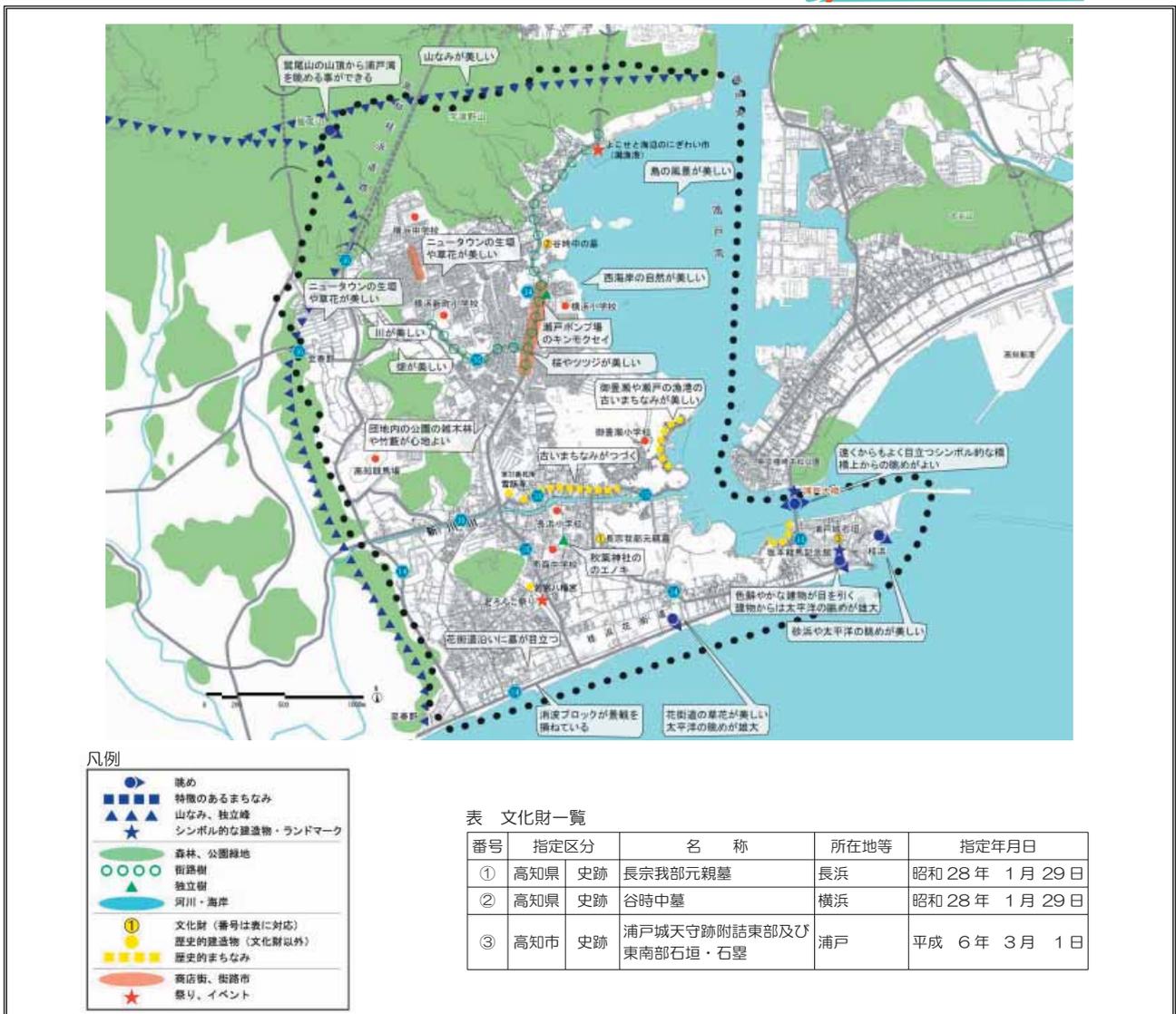


図 景観資源マップ

## 2.2.3 長浜地区

### 眺め

この地区は、雄大な太平洋に面するとともに、鷲尾山・宇津野山といったみどり豊かな山なみを望むことができます。また、浦戸大橋がシンボリックな建造物となっています。

山の手の新興住宅地では、整然と区画された宅地に、生垣や草花、高木など敷地内の緑化が積極的に行われており、背景の山のみどりと合わせて、優れた住宅地景観となっています。一方、御豊瀬や浦戸の漁村は、昔ながらの貴重なまちなみが残っています。

花街道などの海岸沿いからは、太平洋を雄大に眺むことができるとともに、松の並木や植栽が良好な景観を形成しています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知県指定の史跡として「長宗我部元親墓」や「谷時中墓」が、また高知市指定の史跡として「浦戸城天守跡及び石垣」がともに指定され、歴史の感じられる場所があります。さらに、史跡等には指定されていませんが、若宮八幡宮など戦国時代以前の歴史的建造物が残っています。また、御豊瀬や浦戸の漁村は昔ながらのまちなみが残っています。

また、地区内には、小中学校が7校あります。それらの校歌には、「鷲尾山」「精華山」の山なみや、「浦戸」や「黒潮」の海の眺め「桂浜」が歌われていて、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 自然環境

この地区は、北部の山々や、浦戸湾西岸の自然が、山ろくの緑化された宅地まで広がっています。一方、南部では田園や、散在する斜面の緑地が自然を育てています。

地区の北部の道路では、街路樹が多く良好な景観をつくっています。

海岸沿いは、花街道の松並木と植栽が背景となり良好な景観を形成しています。

山の手の新興住宅地では、整然と区画された宅地に、生垣や草花、高木など、敷地内の緑化が積極的に行われており、後背地のみどりと一体となった良好な景観を形成しています。



### 賑わい

この地区は住宅地が多く、主要な道路沿いに商業施設が散在しています。特に宇津野トンネルから南の県道沿いには、ロードサイドショップが集積しています。

桂浜は、高知県を代表する観光地であり、多くの観光客で賑わっています。また、地区内には高知競馬場があります。毎年5月に高知市漁業協同組合横浜水産施設（灘漁港）で行われる「よこせと海辺のにぎわい市」は、1万人を超える人出で賑わいます。



2.2 地区別の現状

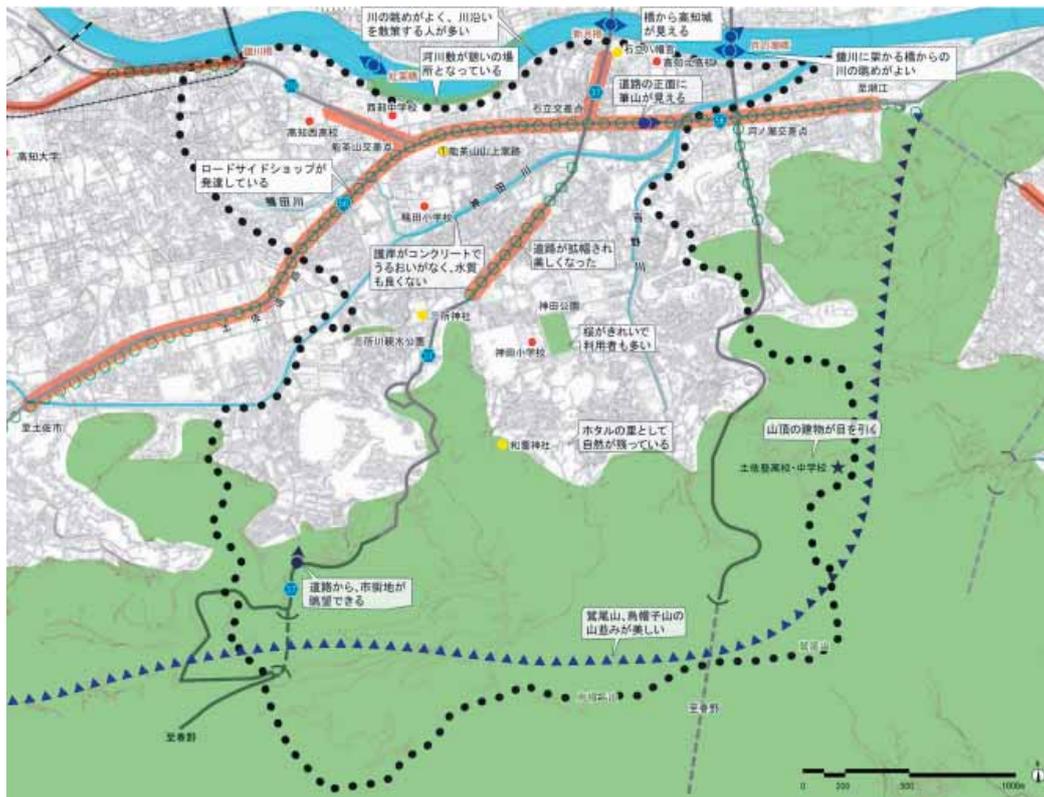
2.2.4 鴨田地区

<土地利用>

鴨田地区は、南部はみどり豊かで生態系が良好な山地で、北部は田畑の広がった区域もあり、みどり豊かな地区です。

地区内の道路は、春野町から土佐市へ抜ける国道56号（土佐道路）が主要なものとなっています。

近年の急速な市街化によって、田園地帯の中に住宅地が不規則に広がり、田畑は減少しています。住宅の多くは低層ですが、一部に中高層マンションが混在していて、工場と住宅が混在している場所もあります。



凡例

●	眺め
■	特徴のあるまちなみ
▲	山なみ、独立峰
★	シンボリックな建築物・ランドマーク
■	森林、公園緑地
○	街路樹
△	独立樹
—	河川・海岸
①	文化財（番号は表に対応）
■	歴史的建築物（文化財以外）
■	歴史的まちなみ
■	商店街、街路市
★	祭り、イベント

表 文化財一覧

番号	指定区分	名称	所在地等	指定年月日
①	高知県 史跡	能茶山山上家跡	鴨部	昭和47年5月6日

図 景観資源マップ

## 2.2.4 鴨田地区

### 眺め

この地区の南部は、みどり豊かな山なみが続いています。土佐道路から東を見ると、正面に筆山を望むことができます。さらにこれらの山々は、市街地を見おろす眺望点としても重要な場所となっています。

また地区内には、市街地の中では数少ない高知城天守閣を望むことができる場所として、月の瀬橋がありますが、最近ではマンション等の建設によって、ビルの谷間に埋もれつつあります。

鏡川、神田川周辺は、田畑や休耕地を宅地開発した住宅地と、残された田畑とが一体となった風景を構成しています。また、鏡川では広々とした河川が自然豊かな景観をつくり出しています。



### 自然環境

この地区は、南側の山地が、豊かな自然環境を形成しています。また、田園地帯ではみどり豊かな景観をつくっています。

南北を結ぶ道路では、街路樹がまばらですが、景観の向上に貢献しています。また、土佐道路は街路樹が美しく、特に秋には紅葉が良好な景観を形成しています。

河川では、地区北側の鏡川河川敷が公園として整備されるとともに、木々もあり豊かな自然環境を形成しています。その一方で、鏡川の支流である神田川や吉野川は治水優先のコンクリートの護岸により殺風景な景観となっています。

鏡川に接している石立八幡宮の鎮守の森は、優れた自然環境を保全する区域として指定しています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知県指定の史跡として「能茶山山上窯跡」が指定され、歴史の感じられる場所があります。また、史跡等に指定されていませんが、和霊神社や三所神社、石立八幡宮といった歴史的価値のある建築物が残っています。

また、地区内には、小中学校が3校あります。それらの校歌には、「鷲尾根」「烏帽子山」の山なみのみどりや、「鏡川」の清い流れが歌われていて、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

土佐道路沿道には、典型的なロードサイドショップが建ち並んでいます。その他にも、住宅地の主要な道路には商店街が形成されています。

鏡川の新月橋から紅葉橋にかけての堤防や河川敷は、高知市内でも有数の住民のジョギングやウォーキングの盛んな場所です。

また、神田公園は南の山への眺望もよく、市民の憩いの場となっています。



## 2.2 地区別の現状

### 2.2.5 朝倉地区

#### <土地利用>

朝倉地区は、北部はみどり豊かで生態系が良好な山地で、南部は田畑の広がった区域もあり、みどり豊かな地区です。

地区内の道路は、春野町から土佐市へ抜ける国道55号・56号と、いの町へ抜ける国道33号が主要なものとなっています。

主な土地利用は住宅ですが、農地も残されており、大学や病院等の大規模な施設もあります。また、地区の西北部は山地が多く、山間に農地や集落が形成されています。

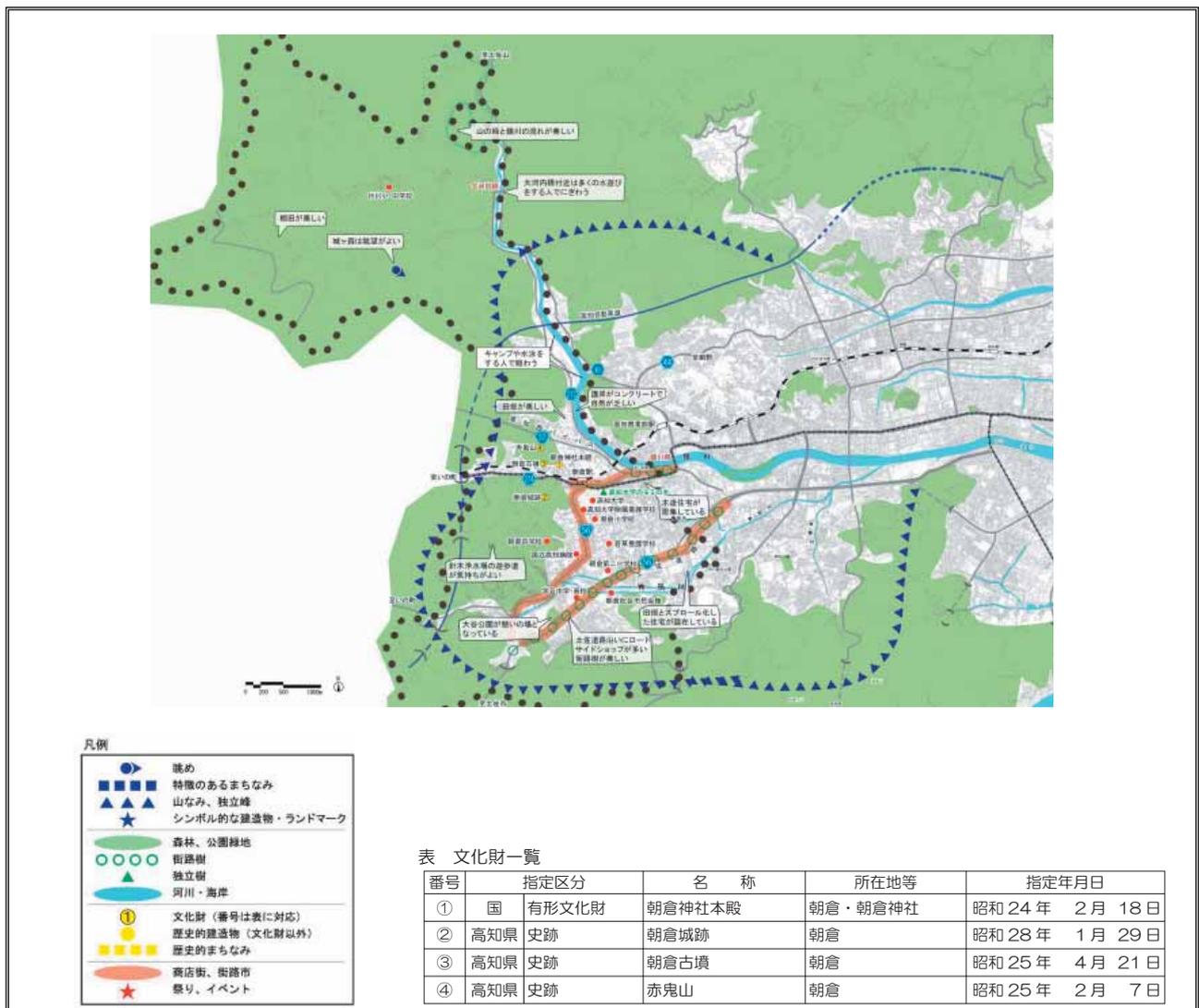


図 景観資源マップ

## 2.2.5 朝倉地区

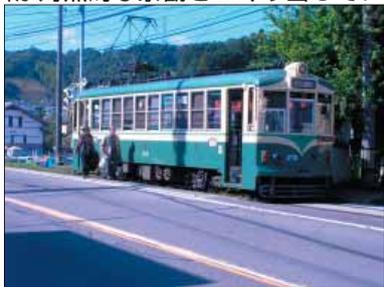
### 眺め

この地区は、周囲を山に囲まれており、ほとんどのところで、背景に山なみを捉えることができます。北の山間地域では、棚田や木々のみどりが美しく、良好な景観となっています。これらの山からは、市街地への良好な眺望が得られます。

南部の平地は建物が密集している場所が多く、残された田畑と一体となった風景を構成しています。

高知大学付近の、県道 274 号は路面電車が走り、独特の風景をつくり出しています。

地区の南には鏡川が流れており、密集した市街地と、広々とした河川が対照的な景観をつくり出しています。



### 自然環境

この地区は、豊かな自然を育くむ山なみが近く、針木浄水場周辺など、市民が自然と触れ合うことのできるハイキングコースがあります。また、田園地帯はみどり豊かな景観をつくります。

鏡川の上流部は、自然に恵まれており、夏はキャンプや水泳をする人たちで賑わっています。

地区内の道路は、街路樹がまばらですが、景観に貢献しています。また、土佐道路は街路樹が美しく、秋には紅葉が美しく良好な景観を形成しています。

住宅地では、敷地内の緑化をしている割合が高く、特に西部では梨やミカンなど果実のなる木が多く植えられています。



### 歴史・風土・文化

この地区には、国指定の重要文化財として「朝倉神社本殿」が、高知県指定の史跡として「朝倉城跡」や「朝倉古墳」「赤鬼山」が指定され、歴史の感じられる場所が多く残っています。

また、地区の北部には、小中学校が2校あります。それらの校歌には、「みどりの故里」「谷の水」などの自然に関することが歌われています。一方、南部には、小中学校が3校あります。それらには、「鷓来巢山」「鷲尾の峰」の山なみや、「鏡川」の清い流れが歌われており、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

国道 56 号の沿道には、典型的なロードサイドショップが、国道 55 号（土佐道路）には、大規模商業施設や遊技場が建ち並んでいます。その他にも、駅前や住宅地の主要な道路には商店街が形成され、周辺住民の生活には欠かせないものとなっています。

鏡川上流は、キャンプや水泳をする人たちで賑わいます。また、針木浄水場周辺の遊歩道や、大谷公園は、市民の憩いの場となっています。高知大学で行われる大学祭は、多くの人で賑わいます。



## 2.2 地区別の現状

### 2.2.6 旭地区

#### <土地利用>

旭地区は、北部がみどり豊かで生態系が良好な山地で、南部は平野となっています。

国道33号(電車通り)は道路拡幅が進行しており、まちなみが大きく変わりつつあります。

北山のふもとでは、近年宅地開発が進み、新しい住宅地が形成されています。一方、南部は、密集した住宅地で国土交通省が指定した重点密集市街地もあり、早急な住環境の改善が望まれています。また、近年はマンションの建設が盛んでまちなみの変化が著しいものとなっています。

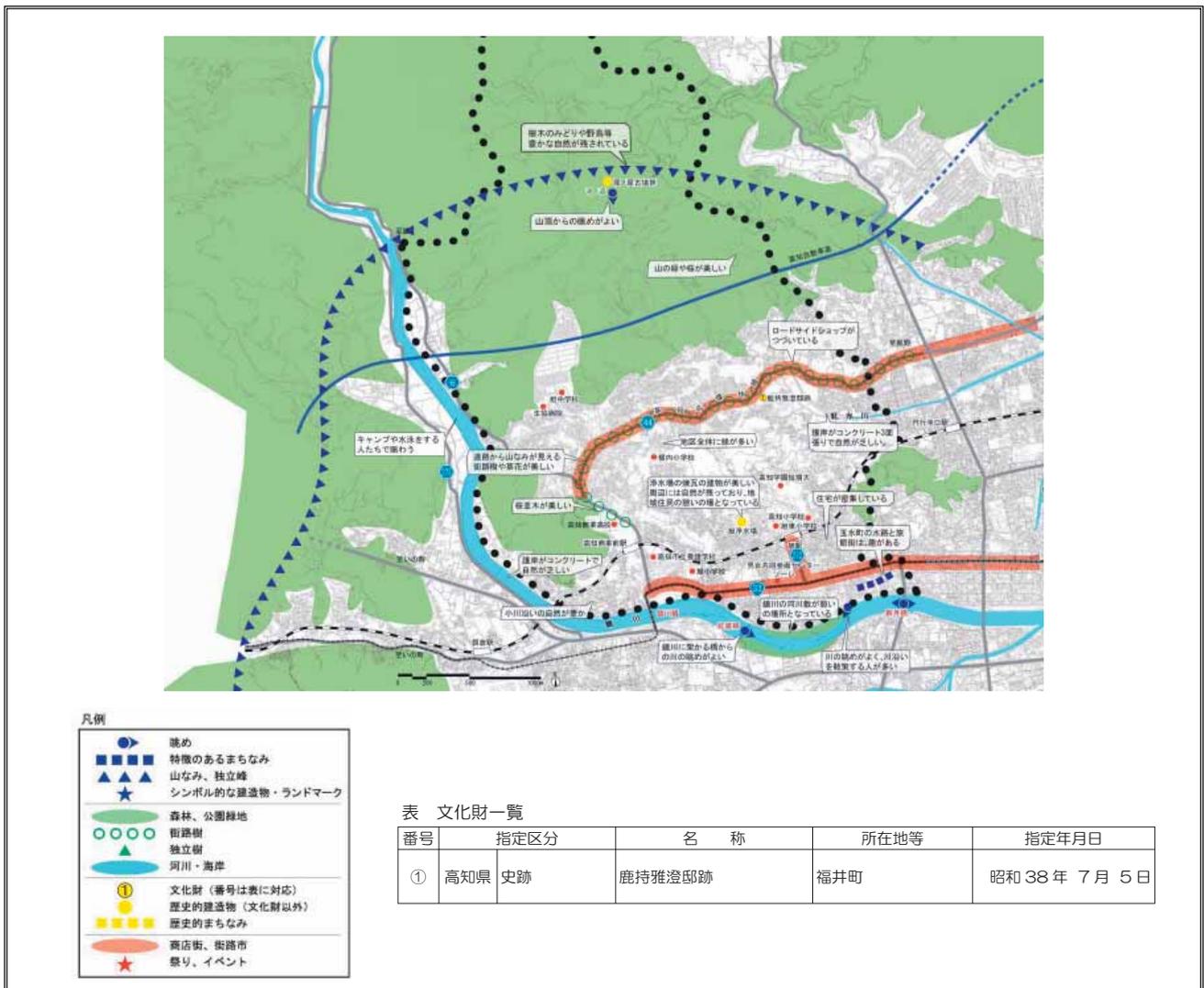


図 景観資源マップ

## 2.2.6 旭地区

### 眺め

この地区は、北部に山なみが広がり、まちなみの背景となっています。これらの山々は、市街地を見おろす眺望点としても重要となっています。また、旭浄水場の施設が、ロマネスク様式の建築物として地域のシンボルとなっています。

北山のふもとでは、新しく開発された団地が広がっていて、整然としたまちなみが広がっています。一方、地区の南には昭和初期の建物も残り、風情のあるまちなみを形成しています。

地区の南には鏡川が流れていて、密集した市街地と、広々とした河川が対照的な景観を造り出しています。



### 自然環境

この地区の、北部に位置する鴻ノ森は、豊かな自然が残っており良好な景観が得られます。

県道44号(北環状線)の街路樹は連続していて良好な景観を形成しています。

鏡川の上流部は、自然に恵まれています。鏡川橋付近は堤防がコンクリートで、殺風景な川沿いの景観となっています。そこから下流域は河川公園として、みどり豊かな景観となっています。

北部の近年開発された宅地では、敷地内の緑化が比較的充実しており、自然に親しむことができます。一方、南部の密集した市街地では敷地内を緑化した住宅が点在しています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知県指定の史跡として「鹿持雅澄邸跡」が指定され、歴史の感じられる場所があります。

また、旭浄水場は、古い煉瓦の建物で歴史を感じさせています。玉水町では、水路沿いに古い旅館街が残されており、独特の雰囲気をも今に伝えています。

また、地区内には、小中学校が4校あります。それらの校歌には、「秦山」「水道山」の山なみや「鴻の森」のみどり、「鏡川」の清い流れが歌われていて、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

県道44号(北環状線)沿いや国道33号(電車通り)沿いにロードサイドショップが建ち並んでいます。その他にも、駅前や住宅地の主要な道路には、商店街が形成されています。

鏡川上流は、キャンプや水泳をする人たちが賑わいます。また、新月橋から紅葉橋にかけては、河川敷を公園的に整備し、多くの市民の憩いの場となっています。



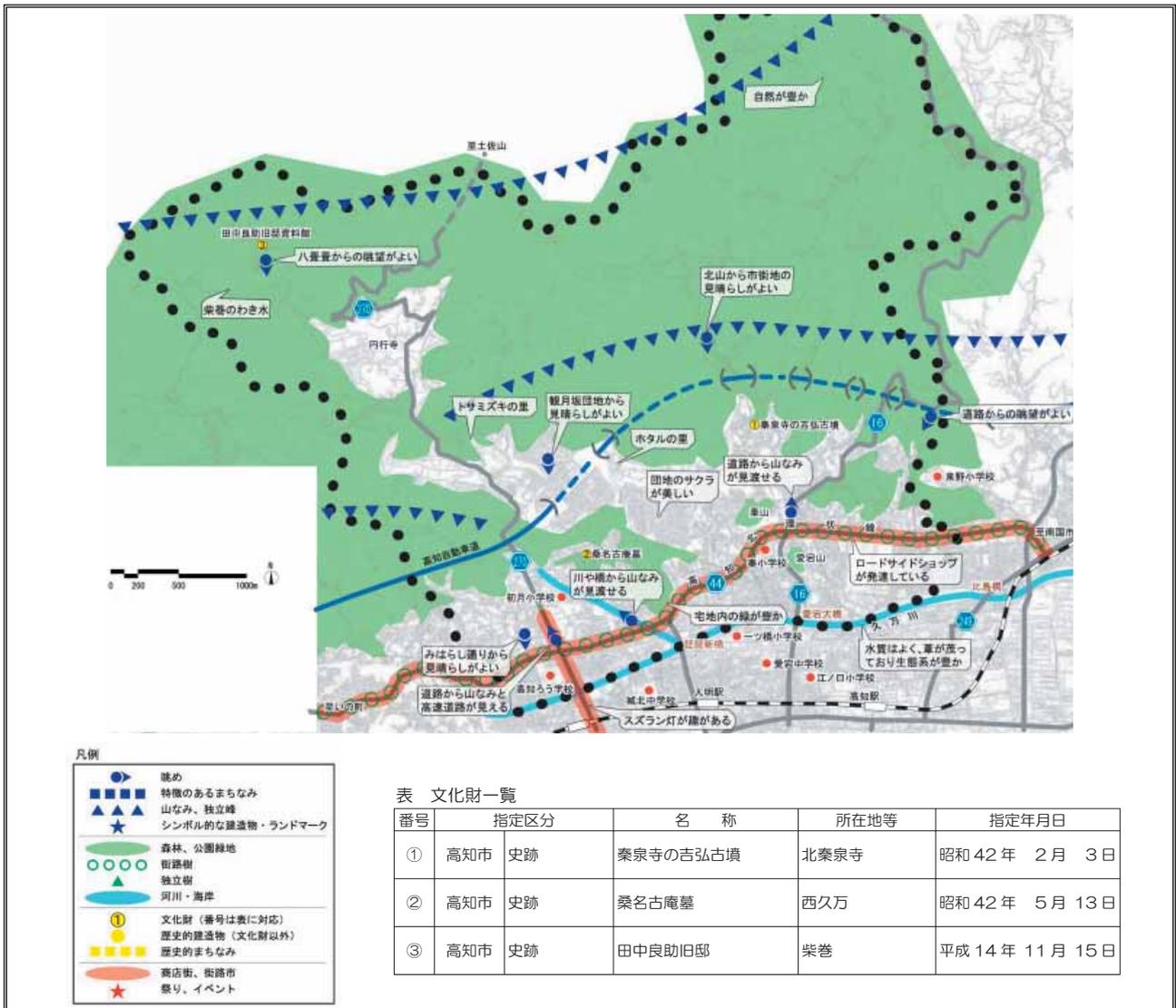
2.2 地区別の現状

2.2.7 秦・初月地区

<土地利用>

秦・初月地区は、北部がみどり豊かで生態系が良好な山地となっています。

地区内は、田園地帯でしたが、現在では北山のふもとにまで、宅地開発の波が押し寄せています。特に、主要な道路である高知自動車道の高知インターチェンジにつながる県道44号(北環状線)沿いは大規模な商業店舗の立地が進み、高知市内でも有数の商業地区となっています。



凡例

●	眺め
■	特徴のあるまちなみ
▲	山なみ、独立峰
★	シンボリックな建築物・ランドマーク
○	森林、公園緑地
○	街路樹
○	独立樹
○	河川・海岸
①	文化財(番号は裏に対応)
■	歴史的建築物(文化財以外)
■	歴史的まちなみ
■	商店街、街路市
★	祭り、イベント

表 文化財一覧

番号	指定区分	名称	所在地等	指定年月日
①	高知市 史跡	秦泉寺の吉弘古墳	北秦泉寺	昭和42年 2月 3日
②	高知市 史跡	桑名古墳墓	西久万	昭和42年 5月 13日
③	高知市 史跡	田中良助旧邸	柴巻	平成14年 11月 15日

図 景観資源マップ

## 2.2.7 秦・初月地区

### 眺め

この地区には、北山があり尾根の標高が300m～400mと、市内の多くの場所から展望できます。特に南北方向の道路から北を見れば、山なみが一望できます。また、北山の見晴らしの良い場所では、高知市内が一望できます。

一方、北山を背景とした閑静な住宅団地の風景が、地域の特徴となっています。

県道44号(北環状線)など市街地の道路沿線には、ロードサイドショップの風景が地域の代表的な眺めであり、行き交う人々に賑わっています。



### 自然環境

この地区は、北山のふもとが広がり木々のみどりが豊かな自然景観をつくっています。田園が広がる地域もあり豊かな自然に恵まれています。

久万川は、護岸はコンクリートですが、岸辺に植物が生い茂り、多くの生き物が見られます。また、主要な道路は、街路樹があり良好な景観を造りだしています。

住宅地では、新たに開発された団地内での宅地内の緑化が比較的充実しています。県道44号(北環状線)沿いに並ぶ大型店舗には植栽が少なく、殺風景となっています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知市指定の史跡として「秦泉寺の吉弘古墳」と「桑名古庵墓」が指定され、歴史の感じられる場所があります。

また、地区内には、小学校が3校あります。それらの校歌には、「秦山」「北山」の山なみやのみどりや、「久万川」の清い流れが歌われていて、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。また、遠くに望む高知城も歌われています。



### 賑わい

県道44号(北環状線)沿いに全国チェーンの大規模商業施設が立地し、高知市内でも最大規模の商業地区を形成しています。その他にも、住宅地の主要な道路には、商店街が形成されています。大規模商業施設に隣接する広場では、フリーマーケットなどのイベントが行われ、多くの人で賑わいます。

久万川の河川敷は遊歩道になっていて朝夕の散歩やジョギングコースとして賑わっています。それにあわせて、住民の自主的な取り組みによって植えられた草花が良好な景観を形成しています。



2.2 地区別の現状

2.2.8 布師田・一宮地区

<土地利用>

布師田・一宮地区は、北部がみどり豊かで生態系が良好な山地となっています。また、東部は比較的まとまりのある水田が広がっています。

地区内の道路は、高知自動車道の高知インターチェンジができ、土地利用が大きく変化してきています。

また、地区内には、国指定の重要文化財旧関川家住宅があり、その周辺は以前からある住宅地となっています。近年の宅地開発により、農道沿いに新しい住宅等が建ち並びつつあります。

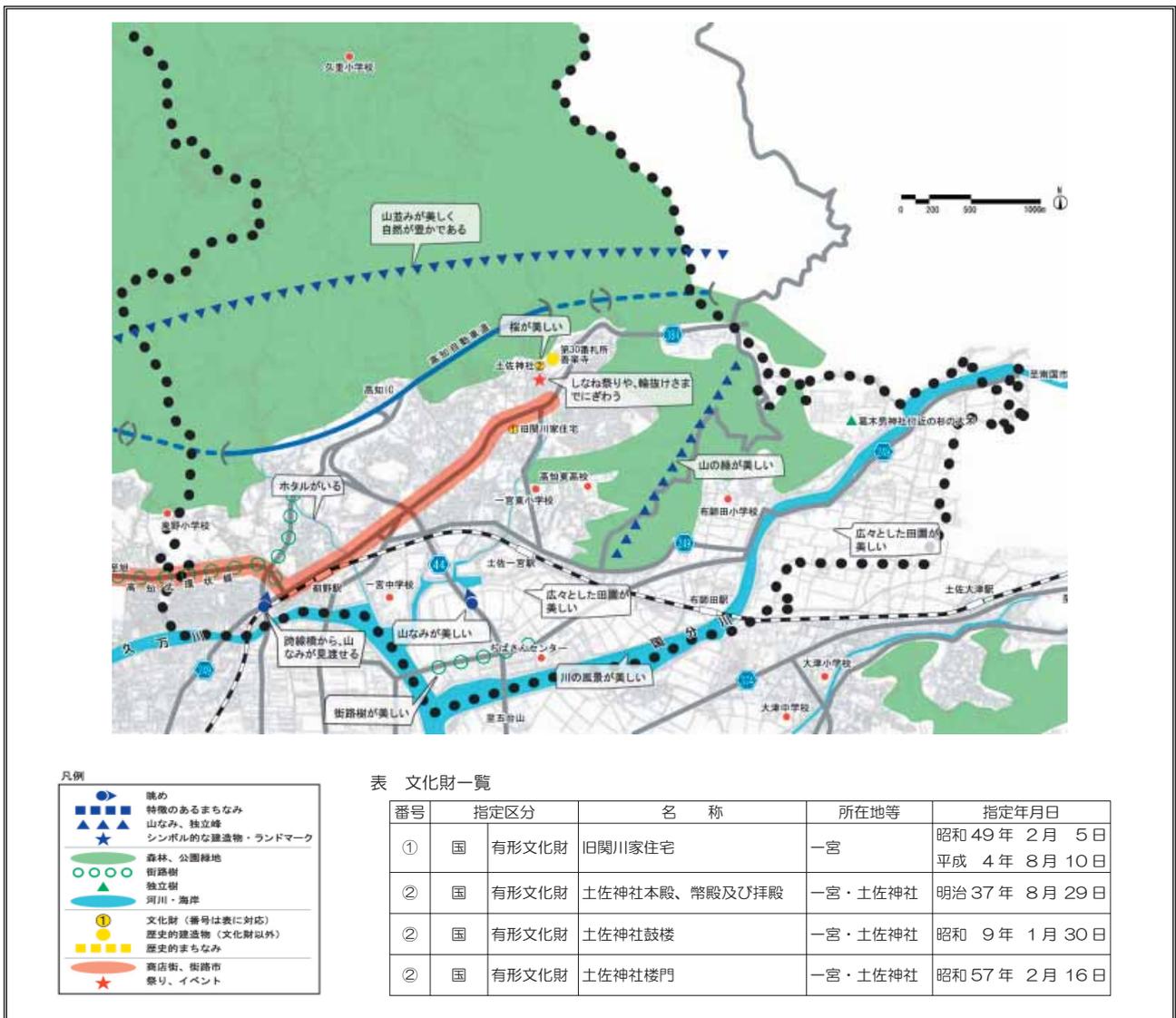


図 景観資源マップ

## 2.2.8 布師田・一宮地区

### 眺め

この地区には、北山があり、尾根の標高が300～400mと、市内の多くの場所から良好な眺望が得られます。特に南北方向の道路から北を見れば、行く手に山なみが一望できます。また、北山の見晴らしの良い場所では、高知市内が一望でき、素晴らしい眺望を得ることができます。

田園や住宅の建ち並ぶところは、高層の建物もなく、背後に見える山なみと合わせて、広々とのどかな風景となっています。また、土佐神社の参道は木々が並び、和やかな風景が見られます。

国分川河口付近は、川瀬に葦が茂り、漁の小舟が浮かんでいます。



### 自然環境

この地区は、北部の山ろくが広がり、木々のみどりが豊かな自然景観をつくりだしています。東部は、田園のみどりも豊かで、昔ながらの集落が残っています。

国分川河口付近は、高層の建築物も少なく広々とした良好な景観が広がっています。

また、主要な道路は、街路樹があり良好な景観をつくりだしています。

郊外や山ろくの宅地は、みどり豊かで広々とした空間を形成しています。その一方で、密集した住宅地は、比較のみどりが少なく、殺風景となっています。



### 歴史・風土・文化

布師田・一宮地区は、国指定の重要文化財として「土佐神社」と「旧関川家住宅」が指定され、歴史の感じられる場所があります。さらに、四国遍路として知られている八十八箇所の霊場の内、三十番札所の善楽寺があり、お遍路さんの歩く姿が見られます。

また、地区内には、小中学校が6校あります。それらの校歌には、「御殿山」の山なみや「しなねの森」のみどりや、「国分川」の清い流れが歌われており、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。

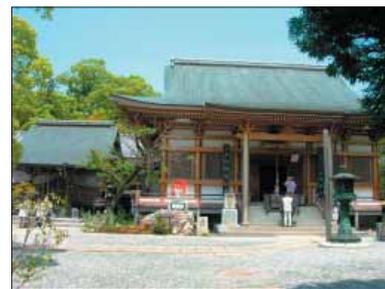


### 賑わい

地区内の旧国道32号沿いに商店街が形成されています。その他にも、住宅地の主要な道路には商店街が形成されています。

土佐神社の8月の大祭は「しなねさま」と呼ばれ、高知県を代表する年中行事のひとつであり、輪抜け様と並んで、大変賑わいます。さらに、善楽寺への往来の遍路道では、お遍路さんが行き来します。

また、ちばさんセンターでも多くのイベントが行われ、たくさんの方が集まります。



2.2 地区別の現状

2.2.9 大津・介良地区

<土地利用>

大津・介良地区は、広い範囲に水田地帯が広がっており、昔ながらの水路と畦<sup>あぜ</sup>で区切られた田園の風景が残っています。

地区内の道路は、路面電車が併走している国道195号と国道32号(南国バイパス)が主要なもので、沿道には商業施設が集まっています。

地区西部の高天原山周辺や鉢伏山周辺は住宅地となっています。近年、開発による住宅団地や大規模店舗の立地があり、まちなみが大きく変化してきています。

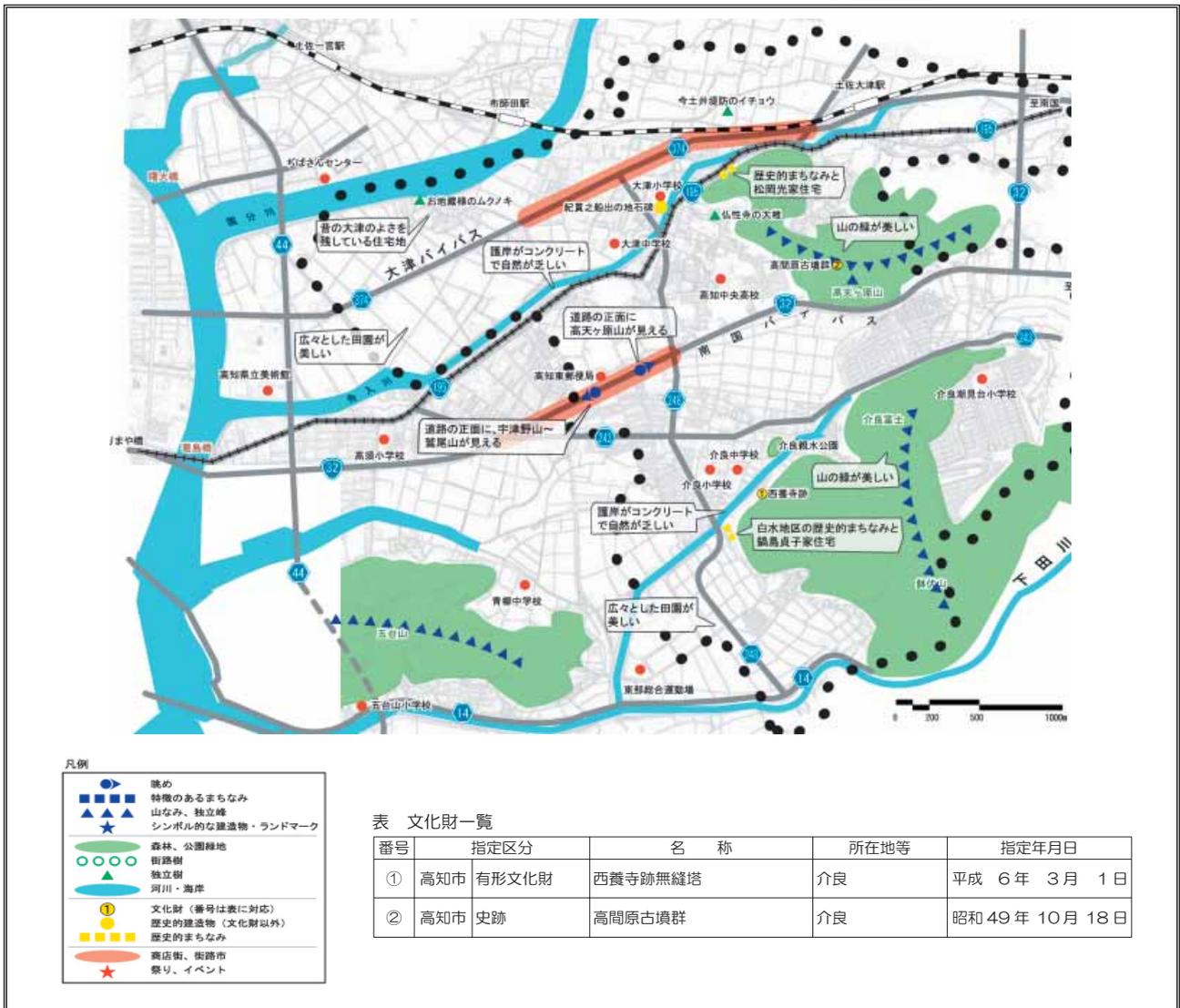


表 文化財一覧

番号	指定区分	名称	所在地等	指定年月日
①	高知市 有形文化財	西養寺跡無縫塔	介良	平成 6年 3月 1日
②	高知市 史跡	高間原古墳群	介良	昭和 49年 10月 18日

図 景観資源マップ

## 2.2.9 大津・介良地区

### 眺め

この地区は、広々とした田園とその背後に見える集落と山なみの風景が特徴となっています。

高天原山は、みどり豊かなシンボルとして位置しています。鉢伏山は、開発によって住宅地が形成され整然としたまちなみを見ることができます。

田園や住宅の建ち並ぶところは、高層の建物もなく、背後に見える山なみと合わせて、広々とした風景となっています。

また、国道55号からは、禁足地である高天原山や五台山がシンボリックに見えます。



### 自然環境

この地区は、高天原山や鉢伏山の木々のみどりが豊かな自然景観を造り出しています。また、田園地帯が多く、良好な景観を形成しています。

舟入川や介良川、国分川は護岸がコンクリートで殺風景となっています。

主要な道路は、街路樹もほとんどありませんが、周辺の山のみどりを背景とした景観が整っています。

住宅地では、新たに開発された団地内での宅地内の緑化が充実しています。国道32号沿いに並ぶ大型店舗には植栽が少なく、殺風景となっています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知市指定の史跡として「高間原古墳群」が指定され、同じく高知市指定の有形文化財として「西養寺跡無縫塔」があり、歴史の感じられる場所があります。また、介良の白水地区には白壁の住宅が複数集まっており、良好な景観を形成しています。

地区内には、小中学校が3校あります。それらの校歌には、「介良富士」や「高間原」の山なみが歌われていて、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

大津バイパス、南国バイパス沿いに商業施設が集積しています。特に大規模商業施設の周辺は、多くの人で賑わいます。その他にも、住宅地の主要な道路には商店街が形成されています。

鹿兒神社では、輪投げ様の際には、多くの人で賑わいます。



2.2 地区別の現状

2.2.10 五台山・高須地区

<土地利用>

五台山・高須地区は、みどり豊かな五台山とその北東に広がる田畑が多い美しい自然を有する地区です。

地区内の道路は、路面電車が併走している国道195号と南国バイパスが主要なもので、沿道には商業施設が集まっています。

地区中央部の五台山には、国指定の重要文化財竹林寺とみどり豊かな牧野植物園があります。住宅は五台山の周辺とその北側に集中しています。近年、田畑が宅地分譲され、良好な田園風景が変化してきています。

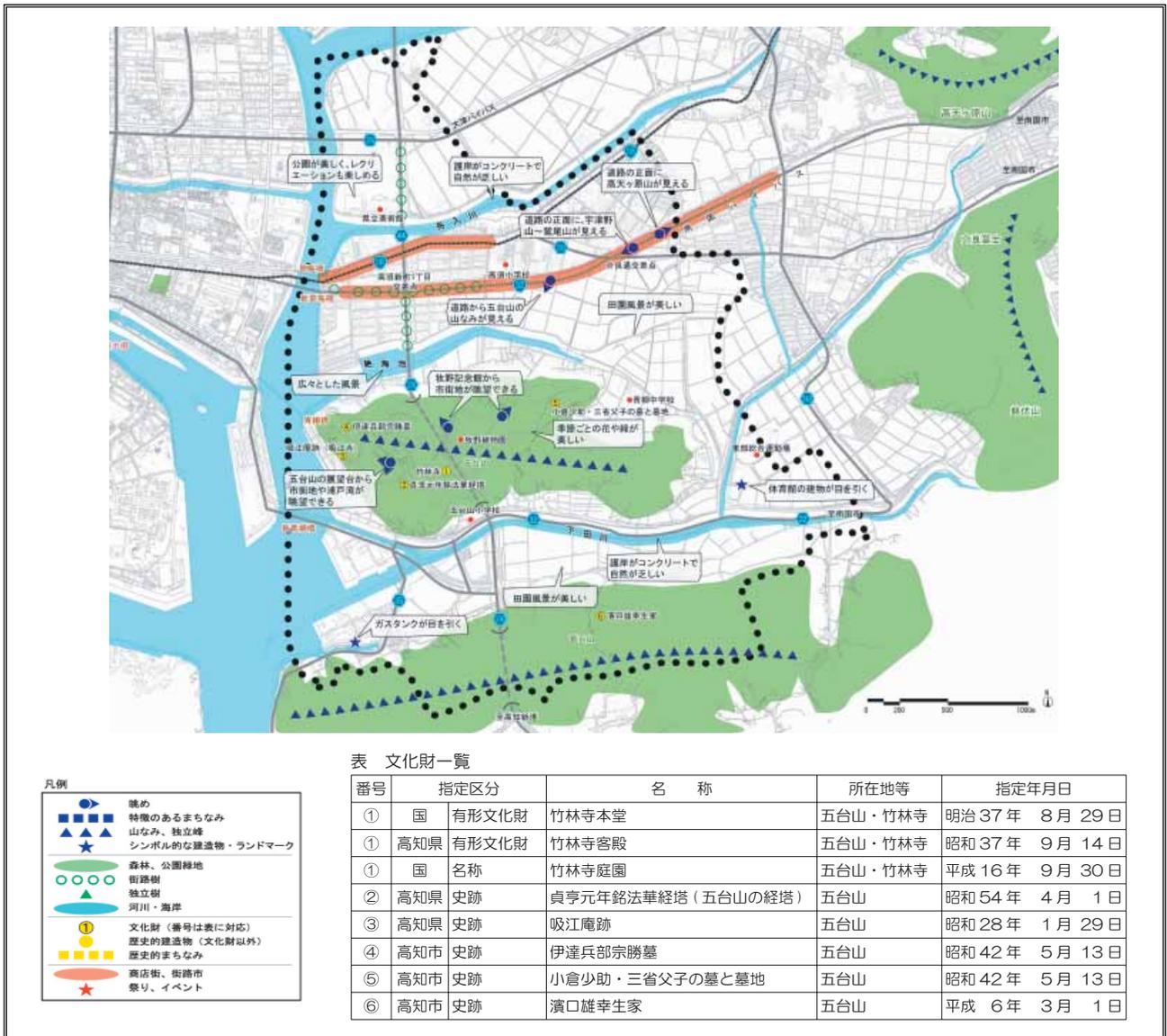


表 文化財一覧

番号	指定区分	名称	所在地等	指定年月日
①	国 有形文化財	竹林寺本堂	五台山・竹林寺	明治37年 8月 29日
①	高知県 有形文化財	竹林寺客殿	五台山・竹林寺	昭和37年 9月 14日
①	国 名称	竹林寺庭園	五台山・竹林寺	平成16年 9月 30日
②	高知県 史跡	貞享元年銘法華経塔(五台山の経塔)	五台山	昭和54年 4月 1日
③	高知県 史跡	吸江庵跡	五台山	昭和28年 1月 29日
④	高知市 史跡	伊達兵部宗勝墓	五台山	昭和42年 5月 13日
⑤	高知市 史跡	小倉少助・三省父子の墓と墓地	五台山	昭和42年 5月 13日
⑥	高知市 史跡	濱口雄幸生家	五台山	平成6年 3月 1日

図 景観資源マップ

## 2.2.10 五台山・高須地区

### 眺め

この地区は、広々とした田園とその背後に見える集落と山なみの風景が特徴となっています。五台山は、みどり豊かなシンボルとして位置付けられています。また、五台山の西側の展望台からは中心市街地や浦戸湾を見渡すことができます。一方、牧野記念館からは、大津・介良地区の田園景観を展望することができます。

田園や住宅の建ち並ぶところは、高層の建物もなく、背後に見える山なみと合わせて、広々とのどかな風景となっています。

また、国道55号からは、禁足地である高天原山がシンボリックに見えます。



### 歴史・風土・文化

この地区は、国指定の重要文化財として「竹林寺本堂」が、さらに名勝として「竹林寺庭園」が指定されています。また、高知県指定の有形文化財や史跡、高知市指定の史跡が数多くあります。その他にも県立美術館や牧野植物園、東部総合運動場などの文化施設も多い地区となっています。さらに、四国遍路として知られている八十八箇所の霊場の内、三十一番札所の竹林寺があり、お遍路さんの歩く姿を見かけます。

また、地区内には、小中学校が3校あります。それらの校歌には、「五台山」や「高須の丘」の山なみや「舟入川」の流れが歌われており、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。

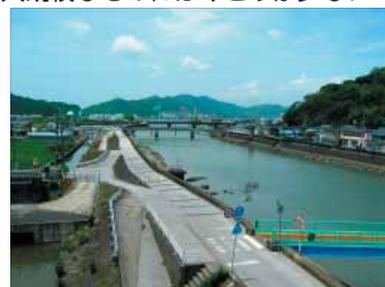


### 自然環境

この地区は、五台山が周辺からのシンボルとして存在し、木々のみどりも豊富で良好な景観資源となっています。また、田園地帯が多く、良好な景観を形成しています。

舟入川や下田川、国分川は護岸がコンクリートで殺風景となっています。また、主要な道路は、街路樹があり良好な景観をつくりだしています。

五台山周辺の住宅は、敷地内の植栽は限られたものになっていますが、五台山の木々と一体となって良好な景観を形成しています。高須の住宅地では、マンションなどの大規模なものにはみどりが少ないが、低層住宅では比較的植栽がされています。

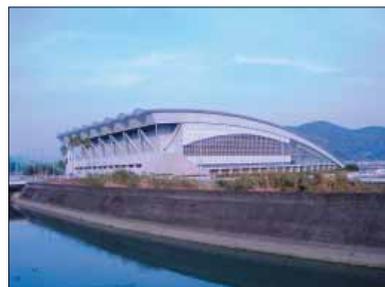


### 賑わい

南国バイパス沿いにはロードサイドショップが連なっています。その他にも、住宅地の主要な道路には商店街が形成されています。

牧野植物園や牧野記念館、県立美術館、東部総合運動場などの文化施設が、市民の憩い場になっています。また、竹林寺への往来の遍路道では、お遍路さんが行き来します。

東部総合運動場では、プロスポーツのキャンプが行われることもあり、期間中は多くの人で賑わいます。





## 2.2.11 三里地区

### 眺め

この地区は、工業地、住宅地、田園など、様々な景観が見られます。港と山が近く、クレーンや倉庫群が立ち並ぶ工業地帯は、背後に山なみが横たわる特徴的な港湾景観となっています。また、大平山山頂には展望台があり、高知新港や太平洋が一望できます。

田園や住宅の建ち並ぶところは、高層の建物もなく、背後に見える山なみと合わせて、広々とした風景となっています。

また、種崎千松公園は、太平洋と白砂青松の海岸線が美しいところです。さらに、浦戸大橋はシンボリックな建造物であり、遠くからもよく目立ちます。



### 自然環境

この地区は、大畑山や太平山などの木々のみどりが豊かな自然景観をつくり出しています。また、東部の田園周辺は、良好な景観を形成しています。海岸沿いでは、千松公園の松林が良好な景観を形成しています。

主要な道路は少ない街路樹の代わりに、周辺の山なみのみどりがうるおいを与えています。

三里の住宅地は、中低層の住宅が整然と並び、三方に囲まれた山のみどりを背景とした景観が形成されています。仁井田から種崎の住宅地では、敷地内を緑化した住宅が点在しています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、国指定の史跡として「武市半平太旧邸及び墓」位置づけられています。指定はされていませんが、県道247号沿いには、歴史的価値のある神社や、個人の古い家が、あり歴史が感じられる地区です。

また、地区内には、小中学校合わせて3校あります。それらの校歌には、「大平山」の山なみや「太平洋」の黒潮流れが歌われており、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

住宅地の主要な道路には商店街が形成されています。

種崎千松公園は、海水浴やキャンプをする人で賑わい、市民の憩いの場となっています。また、高知新港では豪華客船が寄港したり、祭りが行われる際には賑わいを見せています。



## 2.2 地区別の現状

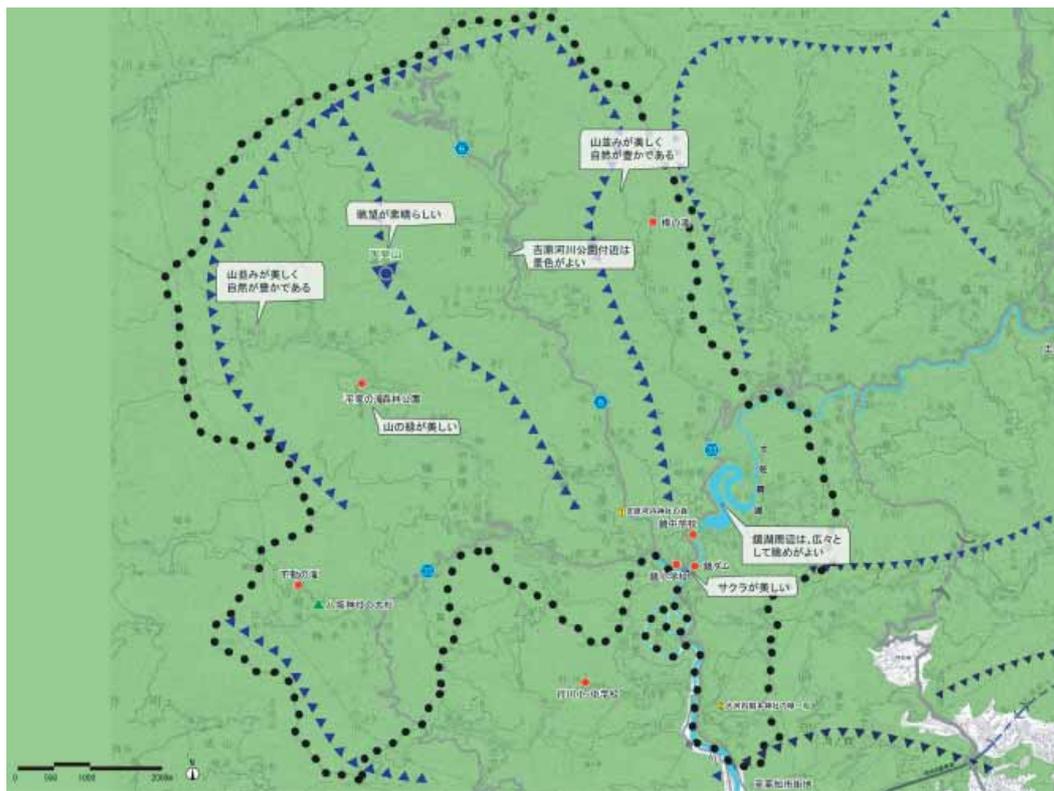
### 2.2.12 鏡地区

#### <土地利用>

鏡地区は、全域が山地で、高知県を代表する豊かなみどりと清流が残った場所です。

地区内の道路は、鏡川沿いを土佐山庁舎から鏡庁舎を経て、いの町へと抜ける県道33号と市内中心部から北へ抜ける県道6号が主要なものです。

鏡庁舎を中心に、学校や商業施設、住宅が集まっています。その他の場所は、みどりに囲まれた傾斜地で、住宅が点在しています。



凡例

	眺め
	特徴のあるまちなみ
	山なみ、独立峰
	シンボリックな建造物・ランドマーク
	森林、公園緑地
	街路樹
	独立樹
	河川・海岸
	文化財(番号は表に対応)
	歴史的建造物(文化財以外)
	歴史的まちなみ
	商店街、街路市
	祭り、イベント

表 文化財一覧

番号	指定区分	名称	所在地等	指定年月日
①	高知市 天然記念物	吉原河内神社の森	鏡 吉原・河内神社	平成 3年 2月 1日
②	高知市 天然記念物	大河内榎本神社の櫻 大河内榎本神社の杉	鏡 大河内・榎本神社	平成 3年 2月 1日

## 2 . 2 . 12 鏡地区

### 眺め

この地区は、全体が山地であるため、谷間の風景が目立ちます。鏡ダム湖周辺は広々とした風景となっています。また、国見山などの見晴らしの良い場所では、高知市内が一望でき、遠くは太平洋を望むことができるなど、素晴らしい眺望を得ることができます。

棚田や竹林、県内最大の作付面積を誇る梅林など一体となった農家の風景が見られます。また、季節ごとに、桜や紅葉などの眺めを楽しむことができます。

鏡川源流域の豊かな自然を背景とした良好な景観があります。



### 自然環境

この地区は、土佐山地区と並んで鏡川源流域の山地として自然豊かな場所です。春には、山桜が彩りを添え、秋には紅葉が美しい風景をつくっています。

道路は最小限の幅員で自然環境が確保されています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知市指定の天然記念物として「吉原河内神社の森」や「大河内楢本神社の<sup>けやき</sup>榎・杉」があります。また、有形文化財や民俗文化財として指定しているものも多くあります。また、悲話が伝わる平家の滝といった名勝もあり、歴史と文化の根付いた地区です。

また、地区内には、小中学校合わせて2校あります。それらの校歌には、「国見山」の山なみや「鏡川」の清き流れが歌われており、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

鏡窓口センター周辺には、商店街が形成されています。

新宮の森と焼野の森は森林公園として整備され、市民の憩いの場となっています。

ダム湖周辺で開かれるさくら祭りや、新宮神社での大利の太刀踊りなど、季節ごとにイベントが開催され訪れる人で賑わっています。



## 2.2 地区別の現状

### 2.2.13 土佐山地区

#### <土地利用>

土佐山地区は、全域が山地で、高知県を代表する豊かなみどりと清流が残った場所です。

地区内の道路は、鏡川沿いを土佐山庁舎へと通る県道33号と市内中心部から土佐山庁舎を経て本山へ抜ける県道16号が主要なものです。

土佐山窓口センターを中心に、学校や保育所、商業施設、住宅が集まっています。

その他の場所は、みどりに囲まれた傾斜地で、住宅が点在しています。

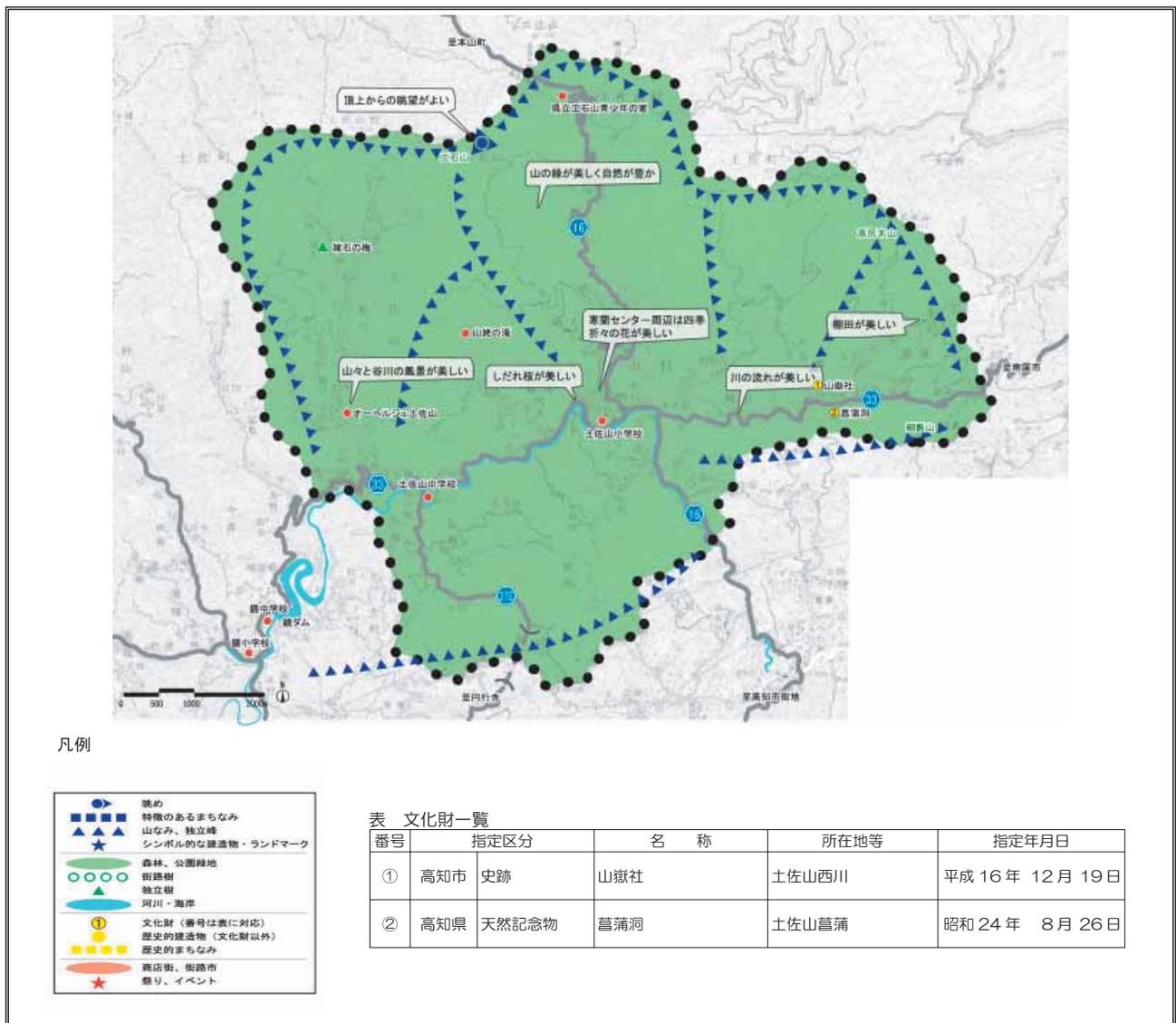


図 景観資源マップ

## 2.2.13 土佐山地区

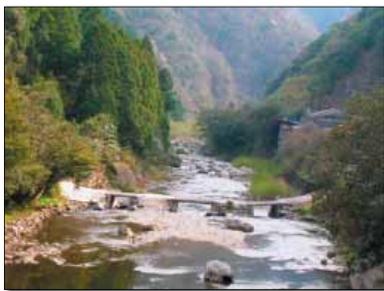
### 眺め

この地区は、全体が山地であるため、谷間の風景が目立ち、昔ながらの集落景観を形成しています。

また、工石山などの見晴らしの良い場所では、高知市内が一望でき、遠くは太平洋を望むことができます。

棚田やゆず畑、竹林など一体となった農家の風景が見られます。また、季節ごとに、桜や紅葉などの眺めを楽しむことができます。

鏡川源流域の豊かな自然を背景とした、良好な景観があります。



### 自然環境

この地区は、鏡地区と並んで鏡川源流域の山地として自然豊かな場所です。

道路は最小限の幅員で自然環境が確保されています。また、整備された駐車スペースも緑化を施すなど自然環境に配慮されています。



### 歴史・風土・文化

この地区は、高知県指定の天然記念物として「菖蒲洞」、高知市指定の史跡として「山嶽社」があり、その他にも民俗文化財として指定しているものも多々あります。また、山姥の滝や大穴峡といった名勝もあり、歴史と文化の根付いた地区です。

また、地区内には、小中学校合わせて2校あります。それらの校歌には、「工石山」の山なみや「鏡川」の清き流れが歌われており、それらが地域のシンボルとなっていることがうかがえます。



### 賑わい

土佐山窓口センター周辺に商店街が形成されています。

オーベルジュ土佐山は、宿泊客や、さらに周辺に咲く花を見に訪れる人も多く賑わっています。

また、弘瀬仁井田神社や高川仁井田神社では、珍しい奉納芸が有名です。さらに、嫁石の梅園では、梅まつりが行われ毎年大勢の人で賑わいます。



## 2.2 地区別の現状

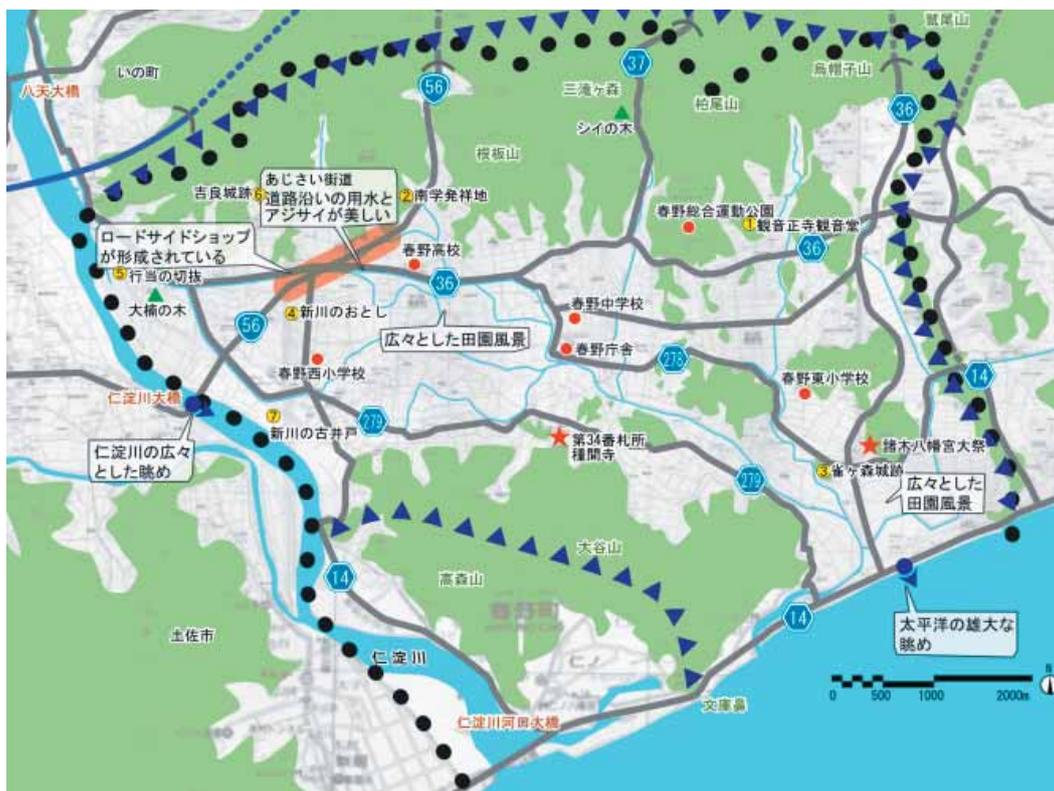
### 2.2.14 春野地区

#### <土地利用>

春野地区は、清流仁淀川からの豊かな水、そして町を優しく包む鷲尾山と太平洋は、伝統や文化、園芸をはじめとした産業をたくましく、暖かく育てています。

地区内の道路は、土佐道路から土佐市へ抜ける国道56号（中村街道）と県道36号（高知南環状線：通称あじさい街道）及び海岸線に沿って長浜・三里へ続く県道14号が主要なものです。

地区の北部は、田園が広がっています。南部は、太平洋に面してビニールハウスが並び、園芸農家が点在しています。



凡例



表 文化財一覧

番号	指定区分	名称	所在地等	指定年月日
①	高知県 有形文化財	観音正寺観音堂	春野町芳原	昭和28年 1月 26日
②	高知県 史跡	南学発祥地	春野町弘岡中	昭和28年 1月 29日
③	旧春野町 史跡	雀ヶ森城跡	春野町東諸木	昭和35年
④	旧春野町 史跡	新川のおとし	春野町森山新川	昭和35年
⑤	旧春野町 史跡	行当の切抜	春野町弘岡上	昭和35年
⑥	旧春野町 史跡	吉良城跡	春野町弘岡上	昭和35年
⑦	旧春野町 史跡	新川の新井戸	春野町森山新川	昭和35年

図 景観資源マップ

## 2.2.14 春野地区

### 眺め

この地区の北部は、広々とした田園とその背後に見える集落や山なみの風景が特徴となっています。南部は、太平洋に面してビニールハウスが並んでいます。

田園や住宅の建ち並ぶところは、高層の建物もなく、背後に見える山なみと合わせて、広々とのどかな風景となっています。

地区内を網の目のように走る用水路はまさに「水の町」の雰囲気を造り出しています。



### 自然環境

この地区は、北部が田園広がる農村集落で、南部はビニールハウスが並ぶ園芸集落となっています。ともに背景には、みどり豊かな山々が望め、良好な景観を形成しています。また、南部の土佐湾沿いでは、漁港や小松の沼などの景観が見られます。

地区内を網の目のように走る用水路はまさに「水の町」の雰囲気をつくり出しています。



### 歴史・風土・文化

この地区には、高知県指定の有形文化財「観音正寺観音堂」や史跡「南学発祥地」があり、その他に旧春野町の指定した史跡が点在しています。また、建物自体は文化財の指定はされていませんが、四国88箇所の34番札所「種間寺」があり、遍路文化を今に伝えています。



### 賑わい

この地区には、まちの顔となった「あじさい街道」があります。水路沿いに5キロにわたって約10,000本、町内全域では20,000本の色とりどりの花が咲き、みどりの濃い6月には、田園との美しい光のコントラストを見せてくれます。この水路沿いの「あじさいウォーク」は、たくさんの方が賑わいます。また秋には、春野町文化ホールピアステージ周辺で「菊まつり」が開かれています。

春野総合運動公園では、各種スポーツ大会が行われるとともに、プロスポーツのキャンプが行われることもあり、期間中は全国からたくさんの方が集まります。

また、種間寺への往來の遍路道では、お遍路さんが行き来しています。



